

# 「幼稚園実習における弾き歌い及びピアノ演奏について」

## 平成27年度アンケート調査分析結果報告

About singing to a musical instrument in the kindergarten training  
and a piano performance.

2015 questionnaire analysis report

鈴木 佑未子(千葉敬愛短期大学)

Yumiko SUZUKI

(キーワード)

弾き歌い ピアノ教育 幼稚園実習

### 要旨

初等教育課程教員及び保育士養成校における弾き歌いとピアノ演奏技術の習得は、大変重要な課題である。

その重要な技術を学ぶ養成校のピアノの実技指導や弾き歌い指導は、何を目的して行われているのだろうか。そこには、当然ながら「現場で使える力を付ける」という回答が待っているだろう。

では、現場で使える音楽技術とはどのようなものか。その曲だけが弾ければ良いのか。疑問は尽きない。

短期大学における養成校の2年次には責任実習を含む3週間にわたる本実習がある。入学時、初学者だった学生が、それぞれに努力をして身につけた技術や知識をもって、現場を経験しに行く。実習前には、「自分ができるかできないか。」という主観に基準のあった学生が、現場を経験し、どのように意識が変わり、現場ではどのような音楽技術が必要と考えたかを知る必要があると考え、アンケート調査を行った。

#### (1) 目的

短期大学2年生の幼稚園実習後の弾き歌い及びピアノ実技に関する意識を調査し、学生の苦手とすることを具体的に知ること、また現場で必要と考えられる音楽技術を探り、今後の授業内容の工夫と充実

を図る。

#### (2) 方法

千葉敬愛短期大学2年生の 保育内容の研究「音楽表現」(半期、選択)授業内においてアンケート調査 回答173名、(180名中当日欠席7名)

#### (3) 具体的な回答方法

当てはまることには○を付け、複数回答可とし、書き込み欄にはより具体的に書き込むこととした。

(4) 実施日 2015年7月7日、8日、13日

(5) 実施者 谷中優 教授

(6) 製作者 鈴木佑未子(本名:鈴木由美子)

鈴木はピアノの非常勤講師のため学生全体に触れることがない。そのため、谷中教授にご協力を頂いた。

#### 考察

アンケート結果より、実習に行くことによって学生のピアノ演奏技術、弾き歌いに関する意識は大きく変化したと考えられた。特に、ピアノが弾けるだけではなく、歌をどう歌うか、子どもたちにどうしたら歌ってもらえるか等、主観的だった技術に対する考え方が、子どもたちを主体とした考えに変化していた。音楽技術の習得は、学生の努力も当然ながら必要であるが、教員の現場技術の認識、授業内容の充、学生の實力をつけるための教材研が必要ではないかと考えられた。